



# JSS 便り

## ジャパニーズ・ソーシャル・サービス ニュースレター

### JSS会長より

デービッド・池田

春の訪れとともにようやく気候も和らぎ、JSSではたくさんの活動を予定しています。

まず、毎年恒例のホリデー・ドライブが成功裏に終わったことをご報告いたします。JSSは昨年のクリスマス時に29家族64人におもちゃ、食料品、衣類の贈り物をしました。ホリデー・ドライブの期間中、JSSのパートナーである各教会と団体に寄付箱を置かせていただきました。皆さまご存知のように、ホリデー・ドライブはコミュニティの皆さまから寄せられた寛大な贈り物によって成り立っています。

また、クリスマスコンサートに参加された教会の皆様へ感謝を捧げたいと思います。このイベント単独で1,000ドルを超える寄金を集めることができ、私を含めJSSスタッフも素晴らしい時間を過ごさせていただきました。トロント仏教会からは2,500ドル、新移住者協会(NJCA)からは3,000ドルの思いがけない寄付をいただき、大変感謝しております。さらに個人の寄付者の皆さまからも寛大な寄付を頂きました。JSS理事で

ファンレイジング委員長の山本順子さんご主人のサムさんからは10,000ドル、JSSボランティアの吉田タックさんからは1,000ドルの寄付をいただきました。タックさんは毎年恒例のボランティア感謝パーティに、料理を提供してくださいました。このボランティア感謝パーティはJSSが会場を借り、ボランティアの方々に昼食と小さなギフトを無料で提供し、それだけで収益をだすことのできた、初めてのイベントでした。

今後予定している活動としては、シングル・マザーのための自助グループプログラムがあります。1人で子育てをされている日系のお母さんたち13人を対象に、以前行った自助グループプログラムは、大きな成功を収めました。月に一度悩みを話し合い、アドバイスを交換し、お互いをサポートするこのグループプログラムは参加者の方が常に必要としている場であり、非常に人気の高いプログラムです。NAJICから寄せられた寛大な寄金、又JCCCからも快く場とチャイルドケア施設を提供してください、低コストに抑えられました。

今年はまた5月14日午後7時より、JCCCにおいて年次総会を開催致します。会場はまだ決定していませんが、当日館内に案内を設置いたします。会員の方

は是非ご参加下さい。慣例に従い、理事会からリフレッシュメント・もしくは軽食が提供されます。公家カウンセラーのプレゼンテーションもどうぞお見逃しなく。

現在JSSでは多くの困難なカウンセリング事案を抱えています。私の記憶では、過去にこれほど多くの事案が寄せられたことはありませんでした。JSSスタッフは残業を重ね、自殺未遂や急増するドメスティック・バイオレンス(DV)被害などのケースに対応しています。

前回ニュースレターの「カウンセラーのコーナー」の草稿は昨年11月に書かれたのですが、その時点でDVに関わる相談数は48件でした。それが12月末までに55件に増えたのです。日本語を話す人口が非常に少ないことを考えますと、1年間で55件もの相談が寄せられること自体、憂慮すべき事態です。JSSのように小さな団体ですと、こういったケースへはカウンセラーやスタッフが非常な労力、時間、熱意を費やす事になります。しかしJSSはこのような困っている方をサポートするためにあります。私達は自分たちに出来る事を最大限にするだけです。

現在JSSカウンセラーが把握し、サポートできるDV被害者の女性とお子さんたちは、氷山

の一角に過ぎません。結局のところ、私たちがサポートできるのはJSSに電話をかけてきた方のみなのです。大変憂慮すべき事態ですが、もしあなたが日本出身で、日本語を母国語とし、日系コミュニティに参加しているとしたら、少なくとも1人のDV被害者をご存知である可能性は非常に高くなります。あなたもおそらくDVに苦しむ方に会っているかもしれません。

### トク氏、トロント チャレンジにて ファンド・レイジング

by デービッド池田

今年のトロントチャレンジは6月14日日曜日に開催され、JSSは今年も加盟団体の一員として参加します。今年で24回目となるこのイベントはJSSにとって最も重要なファンド・レイジングイベントの1つでもあります。昨年JSSはこのイベント単独で約21,000ドルの寄金を集めました。

多くの皆さんがご存知のように、寄金の大部分は88歳になられるJSS理事のトク・須山氏たった一人の御尽力で集められました。須山氏は長年トロントチャレンジに参加してこられました。JSSの重要なサポーターで友人でもある91歳のミッツ・伊藤氏も参加されています。

今年のトロントチャレンジは天候に関係なく、9時に始まります。トロントチャレンジとは、トロント市が運営する公式なファンド・レイジングイベントで、JSSのように地域のシニアを支援し、困っている方々にサービスを提供している団体のために寄金を集めることを目的としています。参加者は5kmの走行、5kmの徒歩、1kmの徒歩の3種類から選んで登録し、メトロホールを出発して完走を目指します。

トクさんのようなこのイベントへの参加者は、事前に私達のコミュニティメンバーに対し、チャレンジに成功した場合JSSに寄付をしてもらうよう、プレッジ(誓約)を結びます。サポーターはチャレンジを応援する意味で寄付をします。

もしトクさんや他の参加者の皆さんを支援して下さる場合は、Japanese Social Services宛の小切手を私どもまでご郵送下さい。小切手のメモ欄にはトロントチャレンジ宛の寄付であることを明記して下さい。JSS

は慣例通りトロント市に寄金の報告をし、皆さんにタックスレシートを発行いたします。

**再度、皆様のサポートに  
感謝いたします。**

### ジャパニーズ・ ソーシャル・サービス 年次総会

日時：  
2015年5月14日木曜日  
午後7時  
場所：  
JCCC 6 Garamond Court,  
Toronto

会員の皆様、  
ぜひ年次総会及び  
ボランティア授賞式に  
ご参加下さい。  
理事会よりリフレッシュメントが  
提供されます。

### JSS 編集後記

編集：デービッド・池田、山本順子  
制作：アンソニー・リリフェルト

翻訳：世古有佳里

このニュースレターの発行において編集・印刷・配布に関わって下さったボランティアの方々と職員に深く感謝します。